

令和7年度入学式式辞

春爛漫の言葉のとおり、木々に緑が映え、六間川の桜も見事に咲き誇り、光溢れる季節を迎えました。本日ここに、令和七年度静岡県立藤枝西高等学校入学式を挙げていただけますことは、新入生はもちろん私たち教職員、在校生にとりましても、大きな喜びでございます。ただいま入学を許可しました百六十八名の生徒の皆さん、御入学おめでとうでございます。教職員一同、皆さんの入学を祝福するとともに、心から歓迎いたします。

この佳き日にPTA会長の岡村弘幸様、同窓会長の滝井眞智子様、学校運営協議会会長の鈴木尚夫様にも御参加いただき感謝申し上げます。

本校は、大正七年に高等女学校として開校以来、地域の女子教育の拠点として、永きにわたり、発展してまいりました。昭和二十七年に、静岡県立藤枝西高等学校と改まり、平成十二年度の男女共学化とともに蓮華寺池のほとりから、現在の地に移転し、新たな学び舎で、地域の方々にも愛され今日に至り、今年で107年目を迎えます。

本校は校訓「自律 敬愛」のもと、

○主体性、協働性を育む多様な学び

○豊かな感性と異文化理解の精神を育むグローバルプログラム

○地域とつながるコミュニティ・スクール事業 などに取り組んでおり、何事にも積極的に挑戦する気概を育み、未来を切り拓く力を育てるとともに、他者との協働により、国際的視野を備え、地域社会に貢献する力を持つ人材の育成を目指しております。

さて今年の入試は、多くの中学生が本校を志願してくれたことから、多数の不合格者をださなくてはならない大変厳しい選抜となりました。本校を挑戦してくれた全ての生徒に拍手を送りたいと思います。そしてその関門を乗り越えた168名の新入生は本校での学びの機会を失った子たちの思いも忘れず、これから始まる西高での日々を大切に過ごしてください。本日は、今日から藤枝西高校の生徒となる新入生の皆さんに、学校生活において心掛けてほしいことを二つお話します。

一つ目です。『夢中になれるもの』を見つけてください。

高校時代は多感な時期で、友人関係や部活動、進路や将来への不安なども出てくるでしょう。こういった時期を支える鍵の一つが何かに夢中になることです。勉強でも部活動でも生徒会活動でも何でも構いません。好きなことに夢中になることもあれば夢中に取り組みないといけないこともあるでしょう。一心不乱、無我夢中になって目の前のことに没頭することは、その瞬間を全力で過ごすこととなります。

全力で打ち込む、ということは尊いことで将来、その経験は必ず役に立ちます。これまで経験のないことにも積極的にチャレンジして、新たな一面を開花させてください。

他人と比較する必要はありませんので、焦らず、勇気を持ってまずは一歩踏み出し、夢中になれる何かを一人一つは必ず見つけてください。

校訓である『自律』を育むには、挑戦と失敗を繰り返しながら経験を重ねていくことが重要です。精神的な強さやしなやかさは困難を乗り越える体験を通して育まれていきます。多感な高校生は、失敗することに少し臆病である場合がありますが、精一杯取り組んで思うようにいかないことは、決して格好悪いことではありません。ほんの少しの努力の積み

重ねが、結果として、気付けば大きな変化や成長につながっています。ひたむきに没頭することが社会的にも認められている価値ある時間が高校時代です。一見、自分にとって厳しいかな、と思う環境に、敢えて身を置いてみてください。

二つ目です。

『想像力を養ってください』

これからの時代は、社会から求められる資質や能力も非常に短い期間で変化していくことが想定されます。これまでの常識が当てはまらず、変化の激しい時代を生きる皆さんはこれまで以上に、将来を予測する力を鍛えていくことも重要となります。これからの時代を歩む若者にとって必要な『生きる力』、と言えるかもしれません。

社会の動向に高くアンテナを張り、正確な情報を多角的、多面的に把握した上で行動に移していくことが想像力を鍛えた上での実践にもつながります。

また、相手の気持ちを想像する力、これも人間関係の構築には重要です。本校の校訓の一つに『敬愛』があります。これは他者を尊敬し、親しみの感情をもつことです。

相手を尊び敬う態度を備えるためには、相手の気持ちを理解しようと共感を持って接し、自分と異なる意見や価値観を受け入れるように意識することです。同調したり迎合したりすることではありません。自分と異なる意見に対して「それは違う」と拒絶するのではなく、「そういう考え方もあるんだな」とまずは受け止めることが、他者尊重の第一歩です。

人はとかく他人の欠点や自分と異なる嫌な部分が目につくものですが、相手の良い面を見るように努力することです。他者の持つ長所である優しさや勇気、あるいは謙虚さや気品などの徳に意識的に目を向け、一見短所と感じるようなことでも視点を変え、魅力と認められるよう心掛けてください。朗らかさや挨拶など、誰もが認める長所だけでなく、深い部分にある魅力を探し出す努力をしていると、ポジティブな見方や考え方が自然と身に付き、前向きなコミュニケーションをとることが出来るようになります。

相手の自覚していない長所まで気付いてあげることが出来れば、そこには生涯の友との出会いや深い絆にもつながります。

本校には、仲間と情熱を注いで深くかかわる行事や成長する機会がたくさんあります。どの活動に取り組んでも、その過程は、皆さんの宝となり、そして財産となるでしょう。

これから始まる西高生活を通して大きく成長していく皆さんの姿を楽しみにしています。

むすびに、本日、御参列いただきました保護者の皆様、お子様の御入学、まことにおめでとうございます。義務教育を終えたとはいえ、高校生は、大人と子どもの二面を持ち合わせている多感な時期です。御家庭におかれましても褒める時は大いに褒め叱るべき時はきっちり叱り、成長を信じて、寄り添ってください。私たち教職員一同は、お子様が自ら進むべき道を自らの力で切り拓いていくことが出来るよう、保護者の皆様と協力しながら、全力で支えてまいります。

御家庭におかれましても、本校の教育方針などについて、御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日入学した、新入生百六十八名、全ての皆さんの、充実した高校生活と、健やかな成長を祈念し、式辞といたします。

令和7年4月7日 静岡県立藤枝西高等学校長 竹村 祐